

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙



「とねりん」
利根町観光協会
イメージキャラクター



3月定例会

No. 142

2018.5.2

H30.3.30 利根親水公園から陽光桜を眺む

平成30年第1回議会定例会

3月定例会

平成30年度 予算を可決

◆全会計◆

99億7642万4千円

◆一般会計予算◆

53億5664万2千円

全会計

会計名		予算額(千円)
一般会計		5,356,642
特別会計	国民健康保険(事業)	2,356,670
	国民健康保険(施設)	117,051
	公共下水道事業	276,824
	町営霊園事業	6,646
	介護保険	1,445,914
	介護サービス事業	10,630
	後期高齢者医療	406,047
合計		9,976,424



一般会計歳入

項目	金額(千円)
町税	1,256,318
地方譲与税	89,000
利子割交付金	2,000
配当割交付金	7,000
株式等譲渡所得割交付金	7,000
地方消費税交付金	236,000
自動車取得税交付金	11,000
地方特例交付金	8,000
地方交付税	1,592,000
交通安全対策特別交付金	1,732
分担金及び負担金	26,254
使用料及び手数料	37,917
国庫支出金	504,677
県支出金	381,044
財産収入	20,207
寄附金	2
繰入金	492,492
繰越金	100,000
諸収入	46,899
町債	537,100
合計	5,356,642

一般会計歳出(目的別費用)

項目	金額(千円)	構成比(%)
議会費	90,209	1.7
総務費	858,404	16.0
民生費	1,825,568	34.1
衛生費	444,697	8.3
農林水産業費	262,503	4.9
商工費	28,256	0.5
土木費	445,759	8.3
消防費	421,982	7.9
教育費	602,783	11.3
公債費	351,795	6.5
諸支出金	19,686	0.4
予備費	5,000	0.1
合計	5,356,642	100.0

平成30年第1回 議会定例会の議決等結果

会 期 平成30年3月1日(木)～平成30年3月14日(水)

審議議案 町長提出議案26件

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
			賛 成	反 対	大 越	新 井 (倉)	石 山	花 嶋	新 井 (邦)	坂 本	高 橋	今 井	五 十 嵐	若 泉	石 井	船 川	
議案第1号	利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	10	1	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
							反										—
議案第2号	利根町国民健康保険特別会計財政調整基金条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	利根町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	利根町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	利根町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	利根町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	利根町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	平成29年度利根町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	平成29年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	平成29年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	平成29年度利根町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	平成29年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	財産の取得について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
															賛	—	
議案第15号	町道路線の認定について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	町道路線の廃止及び変更について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	利根町教育委員会教育長の任命について	同意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	利根町教育委員会委員の任命について	同意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	利根緑地運動公園ゴルフ練習場の指定管理者の指定について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
			賛成	反対	大越	新井倉	石山	花嶋	新井邦	坂本	高橋	今井	五十嵐	若泉	石井	船川	
議案第20号	平成30年度利根町一般会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		討論													賛	—	
議案第21号	平成30年度利根町国民健康保険特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		討論													賛	—	
議案第22号	平成30年度利根町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	平成30年度利根町営霊園事業特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		討論													賛	—	
議案第24号	平成30年度利根町介護保険特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	平成30年度利根町介護サービス事業特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」は賛成、「×」は反対、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論 を表します。
議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

平成30年第1回 議会定例会 議案概要

【町長提出議案】

議案第1号 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例……………【原案可決】

一般職の職員の給与に関する法律等の改正により、国家公務員の給料月額、勤勉手当の支給率等が改訂されたことに伴い、国に準じて職員の給料月額、勤勉手当の支給率等、町長、教育長の期末手当の支給率の規定を改めるものです。

議案第2号 利根町国民健康保険特別会計財政調整基金条例の一部を改正する条例……【原案可決】

平成30年度からの国民健康保険制度改革に伴い、県に納付する国民健康保険事業費納付金の支払いに困難が生じた場合、基金の処分ができるよう改めるものです。

議案第3号 利根町国民健康保険条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

平成30年度からの国民健康保険制度改革に伴い、都道府県と市町村の責務が国民健康保険法（昭和33年法律第192号）で規定され、町が行う国民健康保険の事務と国民健康保険運営協議会について明文化する必要があるため、関係規定の文言を改めるものです。

議案第4号 利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

町の国民健康保険税のうち、普通徴収の方法によって徴収される最初の納期に係る金額は、地方税法の規定により各納期の1,000円未満の端数を合算するため、他の納期の金額と比べて高額となる場合があり、納期ごとの金額の平準化を図るものです。

議案第5号 利根町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例……………【原案可決】

介護保険法施行規則の一部を改正する省令が公布され、居宅介護支援事業者の指定に関する権限が、県から移譲されることに伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等について、条例で制定するものです。

議案第6号 利根町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

介護保険法施行規則の一部を改正する省令が公布され、介護予防支援等に係る人員、設備、運営などを定める省令が改正されたことに伴い、条例の規定を改めるものです。

議案第7号 利根町介護保険条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令及び介護保険法施行規則等の改正に伴う、第7期介護保険事業計画の策定に基づき、平成30年度から平成32年度までの介護保険料の規定を改めるものです。

議案第8号 利根町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例……【原案可決】

都市公園法施行令の一部改正により、一の都市公園に設ける運動施設における敷地面積の総計が当該都市公園の敷地面積に対する割合を定める必要があることから、条例を改めるものです。

議案第9号 平成29年度利根町一般会計補正予算(第6号)……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ126,988千円を減額し、総額を5,422,044千円とするものです。歳入の主なものが民生費国庫負担金、民生費県負担金、財政調整基金繰入金、消防債、過疎対策事業債が減額、総務費県補助金で茨城県過疎地域自立促進交付金、農林水産業債、農林水産業費県補助金が増額となりました。歳出の主なものは民生費で社会福祉総務費、医療総務費、児童措置費など、また、総務費まちづくり推進事業費、農業振興費が減額となりました。

議案第10号 平成29年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)……………【原案可決】

事業勘定の予算額に歳入歳出それぞれに110,934千円を追加し、総額を2,753,404千円とするものです。歳入の主なものは療養給付費等負担金、高額医療費共同事業交付金、保険財政共同安定化事業交付金、財政調整基金繰入金などです。歳出は介護納付金、高額医療費拠出金、保険財政共同安定化事業拠出金が減額です。

直営診療施設勘定の歳入歳出それぞれに8,710千円を追加し、総額127,875千円とするものです。歳入の主なものは診療収入、歳出は一般管理費が減額、財政調整基金積立金が増額です。

議案第11号 平成29年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)……………【原案可決】

予算額から歳入歳出それぞれ27,425千円を減額し、総額を290,405千円とするものです。歳入は下水道使用料、財政調整基金繰入金、下水道債、過疎対策事業債が減額、歳出の主なものは公共下水道建設事業費、公共下水道維持管理事務費は減額です。

議案第12号 平成29年度利根町介護保険特別会計補正予算(第3号)……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ7,373千円を追加し、総額を1,504,216千円とするものです。歳入は第1号被保険者保険料が増額、歳出は介護予防・生活支援サービス事業費、一般介護予防事業費が減額です。

議案第13号 平成28年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ14,473千円を追加し、総額を397,845千円とするものです。歳入は後期高齢者医療保険料が増額、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金が増額です。

議案第14号 財産の取得について……………【原案可決】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、利根町公民館駐車場用地に充てるため利根町大字下曾根字一の耕地155番ほか9筆を取得するものです。

議案第15号 町道路線の認定について……………【同意】

道路法(昭和27年法律第180号)の規定により、町道2766号線と町道2767号線の認定するものです。

議案第16号 町道路線の廃止及び変更について……………【同意】

道路法(昭和27年法律第180号)の規定により、町道2007号線を廃止、町道2008号線と町道2498号線と町道2522号線を変更するものです。

議案第17号 利根町教育委員会教育長の任命について……………【同意】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を得るものです。

議案第18号 利根町教育委員会委員の任命について……………【同意】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を得るものです。

議案第19号 利根緑地運動公園ゴルフ練習場の指定管理者の指定について……………【原案可決】

利根緑地運動公園ゴルフ練習場管理条例第3条の規定により、指定管理者による管理を行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により提案するものです。

一般会計・特別会計予算審査特別委員会

《審査経過・結果 報告》 石井 公一郎 予算審査特別委員会委員長

審査結果

予算特別委員会は平成30年度利根町一般会計予算から、平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計予算までの7件の議案について、3月5日（月）から3月7日（水）の3日間にわたり審査を実施いたしました。慎重なる審議の結果、原案を全員賛成で可決しました。

議案番号	件名	審査結果
第20号	平成30年度利根町一般会計予算	原案可決
第21号	平成30年度利根町国民健康保険特別会計予算	原案可決
第22号	平成30年度利根町公共下水道事業特別会計予算	原案可決
第23号	平成30年度利根町営霊園事業特別会計予算	原案可決
第24号	平成30年度利根町介護保険特別会計予算	原案可決
第25号	平成30年度利根町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
第26号	平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決

審査経過

平成30年度における当初予算について

一般会計の歳入においては、自主財源である町税の減少傾向が見られる。歳出については、財源に対する認識をさらに高めていただき、財源確保並びに十分なる精査により効率的な予算執行が行なわれるよう強く要望いたします。

一般会計は、前年度比0.3%減の53億56,442千円、歳入は、町税が前年度比1.6%減の12億56,318千円、地方交付税が前年度比2.0%減の15億92,000千円、国庫支出金5億4,677千円が主なものです。

歳出は、福祉バスの増便の費用、福祉バスは現在1便で運行している14人乗りのバスの他に、もう1台10人乗りのバスをリースし2台体制で運行する予定です。他に新規事業として県内でも高齢化率約41%と高いことから65歳以上の高齢者が運転免許証を返納した際、12,000円分のバス回数券かタクシー助成券を受け取れる高齢者運転免許証返納支援助成金120万円、子供や若者世代を対象としてワークショップ、スポーツイベントなどを行なう「とね元気塾」プロデュース業務委託150万円、役場屋上から近くの道路の渋滞状況や利根川の水位などを確認できるライブカメラの設置工事費用104万2千円、住民自治基本条例策定事業36万2千円などです。

平成30年度利根町国民健康保険特別会計予算

事業勘定予算の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ23億56,670千円で、前年度より4億17,310千円の減です。平成30年度から制度改革により県が財政運営の責任主体となり、国保は県と市町村の共同運営に変わります。規模を大きくすることで、運営のリスクを分散し財政を安定化させることが狙いです。また、都道府県の役割を強化し市町村間の保険料格差をなくしていくことを目的としております。

歳入の主なものは、国民健康保険税3億98,018千円で、被保険者数の減少から前年度より43,488千円の減、県支出金が16億67,920千円で、国保制度改革によって保険給付費が全額県から交付されることから大幅な増です。

歳出の主なものは、総務費が53,148千円で前年度より8,249千円の減、保険給付費が16億24,324千円で前期高齢者の増加に伴い医療費の増加が見込まれることから、前年度より19,574千円の増、国民健康保険事業費納付金は、平成30年度の国保制度改革で新設されたもので、予算額は6億38,972千円の計上です。保健事業は、33,217千円で、前年度より282千円の増となっております。なお、平成30年度の国保税の税率は、財源不足を基金の取崩しにより、税率の見直しは行なわず、現行税率を据え置くことにしています。

直営診療施設勘定予算の総額は、1億17,051千円で前年度と比較し、11,523千円の増です。歳入は、診療収入の94,522千円で、全体の80.7%です。後期高齢者診療報酬の収入の増加により、前年度より6,420千円の増です。歳出は、総務費が92,116千円で、職員給与費の増加により前年度より8,313千円の増、医業費は23,934千円で、医療用衛生材料費の増加により、前年度より3,210千円の増です。

平成30年度利根町公共下水道事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ、2億76,824千円で、前年度より33,741千円の減額で10.9%の減です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料で、1億74,426千円で前年より1,188千円の減です。繰入金は、76,899千円で一般会計繰入金56,899千円、財政調整基金から20,000千円の繰入がありました。

歳出の主なものは、下水道費1億9,662千円で前年度より27,554千円の減です。主な事業は、利根フレッシュタウン北側雨水路施設実施設計務委託と布川地区下水道管路施設布設替工事です。公債費で、79,162千円は長期債の償還金です。

平成30年度利根町町営霊園事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6,646千円で前年度より663千円増です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料で4,798千円、管理料は1区画当たり年間4,000円で1,199区画、繰入金は1,847千円で、これは財政調整基金からの繰入金です。歳出は、霊園事業費、6,546千円で霊園環境整備に業務委託と新規事業の納骨堂設置工事の設計委託です。

平成30年度利根町介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ、14億45,914千円で、前年度より32,489千円の増額です。

歳入では、介護保険料は3億90,133千円で、前年度比20,046千円の増です。国庫支出金2億72,011千円で、前年度比7,752千円の増、また支払基金交付金3億77,356千円で、5,636千円の減となっております。

歳出の主なものは、総務費13,922千円で、前年度比1,730千円の減です。

歳出合計14億45,914千円に対し保険給付費が13億53,204千円となっており、歳出全体の93.6%を占めております。

平成30年度利根町介護サービス事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ、10,630千円で、2,064千円の増額です。歳入の主なものについては、サービス収入で6,462千円、繰入金4,147千円で、この繰入金は一般会計からの繰入です。

歳出の主なものは、サービス事業で10,629千円です。

事業の内容は、ケアマネジメントに伴う介護支援専門員の人件費及び介護支援事業所への委託費が主なものです。

平成30年度利根町後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ、4億6,047千円で、前年度より32,650千円の増です。

歳入は、後期高齢者医療保険料が1億92,656千円で被保険者数の増加で、前年度より29,137千円の増、繰入金が2億6,833千円で保険基盤安定繰入金が増により、前年度より3,540千円の増となっております。

歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金が3億85,236千円で、被保険者の増による保険料収入増により、前年度より30,926千円の増です。



人事案件

▼利根町教育委員会教育長の任命について

氏名 ^{すぎやま}杉山 ^{ひでひこ}英彦 氏 任期 平成30年4月1日から平成33年3月31日

▼利根町教育委員会委員の任命について

氏名 ^{いし い}石井 ^{ゆたか}豊 氏 任期 平成30年4月1日から平成33年12月31日

討 論

第1回議会定例会に上程された議案等に対し、下記の討論がありました。

＜ 議案第1号 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 ＞

反対討論 新井 滄吉 議員

NHKが総力をあげて夕張市を取材した報告によれば、市長は給料7割削減。去年3月5割削減に戻した。職員も相等の削減。危機感を持って対応した。過疎指定を受けた利根町をなんとかしなきゃと思う人は増えたと思います。町の職員は、自分の努力に関係なく法律が変われば自動的に変動する。だから、危機感がないんだと私は感じました。職員も町民も危機感を持たなければと思い、職員給与のアップに反対します。

＜ 議案第14号 財産の取得について ＞

賛成討論 若泉 昌寿 議員

この財産取得は、公民館駐車場を拡張するための取得です。現在の駐車場は狭すぎて、イベント時などは足りていない状況です。以前から隣地購入計画があり、この度、地権者の理解が得られ議案として出されました。議員の方々も理解してくれる事と思います。先々は、公民館・図書館・保健福祉センター及び文小学校等も利用しやすくなると思いますので賛成します。

＜ 議案第20号 平成30年度利根町一般会計予算 ＞

賛成討論 若泉 昌寿 議員

新規事業が多く組まれた若手職員研修があり、今後、職員として任せられるよう研修してくれることを望みます。他に、町長公約の福祉バス賃借料、基盤整備事業西部地区はほぼ決まり、南部地区の調査費も付きました。町道の設計委託、小中学校設備設置事業、公民館駐車場用地確保もでき、これからの1年間、町長としての手腕を期待しています。

＜ 議案第21号 平成30年度利根町国民健康保険特別会計予算 ＞

賛成討論 若泉 昌寿 議員

国民健康保険は、これまで市町村単位で行われてきましたが、平成30年度より都道府県と市町村が共同運営となります。制度は変わりますが、国保に加入している方々の国保税値上がりはすぐにはないようですが、今後高齢化が進みますので、基金を大切に使いながら町民に対し安心感を与えられるよう努力して下さい。

＜ 議案第23号 平成30年度利根町営霊園事業特別会計予算 ＞

賛成討論 若泉 昌寿 議員

平成30年度の予算は、昨年度より66万3,000円増ですが、納骨堂設置工事設計業務委託費が組まれています。利根町で生まれ育った子供は成長すると町外へ出て、残るのは高齢者。先代お墓の墓守をしてくれる方は少なくなり、無縁仏が出てくると思いますので賛成します。

町政のここが聞きたい

一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 栄橋我孫子側の信号機の右折について

答 我孫子警察への要望をお願いしていく

坂本啓次議員

問 成田側より利根町に右折する際、信号機に時間差、又は矢印信号を設けるなどの対応は出来ないものか。

答 我孫子警察に確認したところ、矢印信号の場合は対面する反対側に矢印信号機が設置できる状況でないと無理との回答がありました。でも今後とも要望していきます。

問 大房、立木112号線の文間小学校入り口の交差点に信号機を設けられないか。

答 確かに道路も広がり危険であることから昨年度、今年度と取手警察には要望しているところであります。

問 取手、東線羽中より千葉竜ヶ崎線の中田切間バイパスの進捗状況と基盤整備

との兼ね合いもあるところで地権者の協力を得ながら早急にやるべきではないか。

答 県側より関係機関より地元の排水関係を十分考慮しながら進めていく。それから今後調整が進んだ段階で地権者への説明をして参りたいとの計画と聞いています。

問 公民館施設についてお聞きします。舞台に上がる際の階段に手すりをつけてもらえないか。またスロープを設けて車椅子の方への配慮が出来ないものか。

答 手すり工事は早急に実施していきたいと思えます。スロープの件は舞台正面では高低差があり設置には無理がありますので脇階段の工夫により検討したいと考えております。

問 羽根野、もえぎ野台の直線道路計画は

答 必ず出来るよう努力します

高橋一男議員

問 町長公約の基本姿勢5本柱の進捗状況や今後の事業計画について伺う。

答 公約の本町を子供教育の先進町に、教育行政の見直しについて、小中学校適正配置等調査検討委員会を教育委員会に設置し、小中一貫校、義務教育学校の導入も含め、児童生徒の減少による教育課題など、将来の小中学校のあり方を調査検討し、教育委員会に答申していただきます。

問 今後の事業で、羽根野～もえぎ野台直線道路計画や公民館駐車場用地予定の進捗状況について、町長の考え、意気込み本気度を伺う。

答 この道路が出来れば、取手方面が一直線になり、大利根交通が、もえぎ野台にも増便して入ると聞いているので、ぜひ完成させたい。私も、この件に関して2回要望に行っています。

今、県議会が終わればいい答えが返ってくると思っているので、必ず出来るように努力します。また、公民館駐車場用地は良質残土を県から無償で提供していただき埋め立てを行います。

問 旧布川小学校体育館横のプール跡地にタイケン学園が校舎を建てられたが、町とタイケン学園との間でどの様に承諾したのか。また、住民からあそこに大きい建物が建っているが何か。と聞かれたが、我々議員に説明がなく答えられなかった。なぜ公表しなかったのかこの件は前町長の話なので、担当課に伺う。

答 確かに本来であれば、なぜ建てているか聞かれたときに、議員への説明はありませんでしたが、この申請が上がったときに、町の広報か何かで公表すれば良かったと今は思っています。

一 般 質 問

問 ウォーキング大会に対し最大の努力を

答 町として最大の努力はする

若 泉 昌 寿 議 員

問 いきいき茨城ゆめ国体は、「跳べ羽ばたけそして未来へ」をスローガンに2019年9月28日より10月8日、また、全国障害者スポーツ大会が茨城県で開催される。ここ利根町では「ウォーキング大会」が行われ、来町する多くの県民の皆さんが気持ち良く大会に参加できるよう、そして利根町に来て良かったと思われるよう努力していただきたい。

答 大会開催に当たり、来町する皆さんが利根町に来て良かったと言ってくれるよう町として最大の努力はしていきます。

問 布川小学校の登下校に使用する四季の丘2丁目の通学路は狭く、車両通行時は危険である。改善願いたいが生徒数は減少し、また、布川地区の基盤整備計画があるので町単独では出来ない状況である。通学路に指定されている道路を登下校時間の

み車両通行止めにするすることで、一時的ではあるが解決出来ると思うが対応を伺う。

答 生徒が安心して通学路を登下校できるようにすることは、町の役割と思っている。色々な問題があり、すぐに解決は難しいが、地域の方々のご理解をいただき登下校中の車両通行止を実現していきたい。

問 町民運動会は町の大きなイベントと思っている。参加者は現状で1000人程度、町としても区長会、諸団体・学校等の協力を得て町全体の参加者で1日楽しく開催されるよう努力していただきたい。

答 確かにここ数10年を見ると、参加者は少なくなっている。特に集落の参加は殆どなく団地でも参加しなくなっている。今後、多くの方々に参加してもらえよう努力していきたい。

問 第5次総合振興計画を策定する方針は

答 4期基本計画を検証し課題の検討

五十嵐 辰 雄 議 員

問 地方創生から地方再生へ生き残り策を計画的に実行すること。子育て支援の環境整備、移住定住促進、地域おこし協力隊、地域紹介動画でのアピール等行っている。

加速する人口減少と超高齢化により地域社会の維持が困難になる。

本町の人口推移は、平成2年の20,511人をピークに減少に転じ「利根町人口ビジョン」で、平成72年には約1万人まで減少する。人口増加と都市の拡大を基本に人口増加時代の総合振興計画から、人口減少に伴い都市が年々縮小する移行期の計画的、効率的な行政運営の指針を示すものである。

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン策定を平成29年度・平成30年度の継続事業で実施する。

上記の計画書は、地域の実態に根ざしたダイナミックな地域政策を考えるべきである。

答 町では、2ヵ年継続事業で総合振興計画・都市計画マスタープランの改定作業を本年度から行っている。総合振興計画の基礎調査のアンケート結果や4期基本計画の成果を検証し、策定方針を検討している。都市計画マスタープランの改定作業は、新たに総合振興計画に位置づけられた土地利用構想や計画の実現に向けて、都市計画の側面から補完する。国土交通省では、平成26年「立地適正化計画」が制度化された。市町村マスタープランにコンパクトシティの推進が定義された。全国的な人口減少・高齢化が進む中、市街地が拡散し低密度な市街地が形成されないよう、居住や都市の生活を支える機能をコンパクトなまちづくりと地域交通の再編による利便性を高めたコンパクトシティを進める。都市計画マスタープランに組み入れるか現在調査中で、上記の計画策定にあたり、行政主導にならないよう住民参加が不可欠である。

問 子育て支援拠点事業の今後は

答 支援ネットワーク充実を図っていく

石山 肖子 議員

問 子育て支援拠点事業の非利用者を支援につなぐための方策は。

答 子育て支援センターの利用率は、2月1日現在で37.5%である。子育て支援センターの情報についての発信を、「広報とね」や町公式ホームページ、子育て支援課前のお知らせボックス、保健福祉センターでのお誘い、さらに、今年度完成の「子育て支援ガイドブック」で行い、支援ネットワーク充実を図っていく。

問 町民による子育て支援ボランティアサークルは。

答 主任児童委員が主体の親子ふれあいサークル「ぽこぽこ」、赤ちゃん絵本をつなぐ「ぷちぷち」、もえぎ野台親子サークル「たんぽぽ」などが活動している。

問 いきいき茨城ゆめ国体利根大会について

答 平成31年9月7日に実施する

大越 勇一 議員

問 ヘルスロードを活用したウォーキングが実施されますが、その概要及びコースの説明と運営について

答 プレ大会が今年度9月22日に、本大会が平成31年9月7日に実施されます。利根町公民館を会場に、ロングコース18Km、ショートコース7kmを予定しております。プレ大会は、利根町民300人、本大会は茨城県民500人の参加を募ります。PRについては、町の公式ホームページ並びに「広報とね」や、役場庁舎に懸垂幕を設置します。また、コース内の史跡旧跡に、看板や説明役のガイドの設置も計画しております。参加者には完歩賞の授与や豚汁の提供、会場では利根町の物産展を開催して、オール利根町でプレ大会及び本大会を盛り

問 こども子育て関連3法で重視されているファミリーサポート事業の現状は。

答 利根町社会福祉協議会の在宅福祉サービス「まごころサービス」で有償ボランティアによる保育サービスを行っている。里親の登録については町民のご協力を期待する。

問 質的子育て支援として親育ち支援プログラムを取り入れる考えは。

答 利根町の現状では個別の支援対応ができていない。平成30年度開設の保健福祉センターの母子保健型子育て世代包括支援センターと協力してネットワーク充実を図っていく。



上げてまいります。



一 般 質 問

問 町道104号線ホクサ工場前の国有地は

答 ホクサ側に民事訴訟の提起を検討する

石 井 公 一 郎 議 員

問 ホクサ工場前の国有地は町の管理、これをホクサ工場が無断で何十年も利用している。町は占有許可をしていない。1日も早く真っすぐな道路にならないのか。

答 町の顧問弁護士と相談し、土地の明け渡しを求める民事訴訟の提起を含め対策を検討する。

問 行財政改革について、当町は、過疎地域の指定条件が改正され、人口減少率と財政力指数が該当して、昨年指定された。過疎地域の指定条件は、財政力指数は0.43であり、自主財源である町税の歳入が低く、地方交付税に依存している。財政構造の弾力性を判断するための指数である経常経費比率が90%以上と一般財源に余裕がない。義務的経費の状況は、人件費においては、一般会計・特別会計の総額は、町税で賄いきれない状況にあり、人件費の削減が最も

重要ではないか。

答 行財政改革については、公約の柱に入っていない。財政状況の悪化や人口減少が進んだことにより、昨年4月に過疎地域に指定、町を再生するためには、やらなければならないと認識している。「利根町行政改革大綱」に沿った行動計画に取り組んでいる。歳入では、ふるさと納税の推進、過年度課税分の徴収対策の強化、歳出では、人件費、地方分権により業務の増や、まち・ひと・しごと創生総合戦略を実行したため、削減はできていない。

問 国民健康保険は、平成30年度から都道府県に運営移管される。メリットは…

答 事業費納付金を支払うことで、医療費を県が全額負担する。高額な医療費が多数発生しても、安定した運営が出来る。

問 町長公約の進捗状況について

答 車両の賃貸借契約を締結した

花 嶋 美 清 雄 議 員

問 町長報酬の半額で福祉バスを増車する件について、進捗を伺う。

答 4月の増車に向けて進め、車両の賃貸借契約を締結した。

問 旧東文間小学校における生きた外国語教育について、進捗を伺う。

答 町民の皆さんとボランティアとで清掃し、1部屋でも2部屋でも使えるようにして実施することが目的であり、そのための用途変更をして使っていく。それまでは生涯学習センターや公民館の中で実施していく。

問 通学路の安心・安全確保の進め方について伺う。

答 教育委員会を始め、各小中学校、取手警察署等の関係機関と連携し利根町通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施により、児童生徒が安全に通学できるよう対応している。

問 バスの通学ルート、また児童生徒の停留所までの行き来の安全確保について。

答 平成20年度の統廃合に伴いスクールバスの運行を実施しているところで、バス通学ルート及び停留所について乗降スペース等が安全でバスがスムーズに巡回できるよう教育委員会で定めている。停留所までの行き来については各自停留所までの道路形態が異なるため、道路幅や徒歩児童の安全性、乗降スペース等を考慮して設定している。自宅から停留所まで地域の保護者に付き添ってもらするなど、地元の皆さんの支援を受け児童の安全確保に努めている。

問 主要農作物の種子法廃止について

答 各種法律に基づき問題なきものが流通

新 井 滄 吉 議員

問 種子法廃止の要求は、日本国内から出てきたのではなく、米国商工会議所から出てきているようです。廃止理由は、民間企業が力をつけてきたので、地方行政が種子を作ることはない。民間企業に任せれば、多様なニーズに応えられる。とのことで、多くの関係者が知らない間に、法案が廃止されてしまった。ある著書によると、裏で画策していたのが、遺伝子組換え企業で有名なモンサント等であった。モンサントは3ヶ月の試験結果を公表して遺伝子組換えの安全性が実証されたとしている。3ヶ月を超え1年近く実験すると殆ど実験ラットが死亡してしまう。この結果を公表する学者等は解雇されてしまう。マスコミ等も沈黙させられているので、こうした事実は余り知らされていない。モンサントは巨額の資金を使い、米国の共和党、民主党をも動かしている。遺伝子組換え食品の怖

さを知る消費者グループは鹿島港から搬送される遺伝子組換えの種子の追跡調査をしている。遺伝子組換えの食品の怖さを知っているためである。モンサント英本社の社員食堂では、自社製品（遺伝子組換え食品）を提供していないという。安全に自信があるなら、自社製品を率先して食べるべきと考える。2005年から2006年にかけて、インドでは1200人余りの自殺者が出ています。モンサントとの争いでです。こうしたことを踏えて利根町行政は遺伝子組換え米にどのような見方をしているのでしょうか。

答 農水省のほうで、各種法律に基づき科学的評価を行い、すべてについて問題のないものが、輸入、流通、栽培等される仕組みになっております。これをもちまして回答とさせていただきます。

議 会 活 動

委 員 会 活 動

総務産業建設常任委員会視察

報告 坂本 啓次 総務産業建設常任委員会委員長

平成30年2月15日午前9時から経済課担当職員を招き、利根西部地区基盤整備の進捗状況の説明を受けました。

説明では、現在は地元推進協議会65名が参加する説明会が開かれ、昨年5月より現在241ヘクタールの地権者宅の訪問が行われ現在97.4%の仮同意を得ているとの説明でありました。

同委員からは、今後とも、地権者の方々への丁寧な説明をしながら、本同意の賛同を得るように頑張ってもらいたいとの意見がありました。

また、事業の個人負担が、過疎対策費があたりやすくなるようになり個人負担が軽減され、それらの要因で地権者の同意が得られやすくなっているとの説明もありました。

次に都市建設課関係の事業現場視察を実施しました。視察には都市建設課長並び担当職員5名が同行し、事業現場を視察し説明を受けました。

- ①町道1424号線（羽根野台）側溝及び、舗装修繕工事の視察説明を受けた
- ②町道109号線（布川から東奥山新田まで）の舗装構造調査業務委託
- ③町道1190号線（立木新利根川）舗装構造調査業務委託

④町道2313号線（福木地内浄化センター周辺）の道路排水整備工事

⑤町道2105線（布川台千葉竜ヶ崎線取付道路）道路修繕工事

これらの現況の視察を行いました。

立木、布川の舗装道路構造調査においては、舗装表面ではなく、道路内部構造の修繕工事も必要との説明を受けました。

また、布川台の取り付け道路は表面を大分掘り下げたため車両通行が安全になったと感じました。以上視察の結果いずれも予算が適正に使われ執行されていると感じた事業現場でした。



②町道109号線 現場視察の様子

議員活動

平成29年度町村議会議員自治研究会

報告 石山 肖子 議員

平成30年2月21日（水）に、茨城県市町村会館・講堂で行なわれました、茨城県町村議会議長会主催の「平成29年度町村議会議員自治研究会」について報告いたします。

主催者あいさつの後、スポーツライター・キャスターの青島 健太（あおしま けんた）氏（鹿屋体育大学、流通経済大学、日本医療科学大学の客員教授）による、「スポーツが創る！地域の理想の未来像」（副題：東京 2020と地域のレガシーを考える）と題した講演を聴講しました。青島健太氏は、5年間のプロ野球生活の後、東京広尾の図書館で知り合ったオーストラリア人との会話がヒントとなり、オーストラリアへ渡り日本語教師とされました。現地での人々との交流からスポーツの醍醐味、喜びを再認識され、帰国後はあらゆるメディアで野球、オリンピック、テニス、フィギュアスケート、サッカーなどのスポーツの素晴らしさを伝え続けておられます。

キーワード「地域のレガシー」の一例として、栃木県佐野市の「クリケットタウン佐野創造プロジェクト」をあげられ、「クリケットのまち佐野」のまちおこしを紹介されました。クリケットは世界でサッカーに次ぐ2番目の競技人口といわれており、佐野市周辺に住むインドやパキスタンなど南アジアの方たちもクリケットを楽しんでいるとのこと。旧田沼高校の跡地に建設している国際クリケット場も今夏に本格稼働するとのこと。インバウンド誘客を図る試みや「地域価値創造マネージャー」という民間人材の登用などの動きをお聞きしますと、スポーツが「多様な人々」をつなぐ不思議なパワーを持つことを実感しました。

また、スポーツ白書のデータより、日常の運動として散歩・ウォーキング・体操が1～3位を占め、その場所の1位が道路であることも紹介されました。歩きやすい道路があるかどうかは日常の運動を促進するカギであることもアドバイスされました。



利根町議会議員行政視察研修

報告 石山 肖子 議員 新井 滄吉 議員

平成30年1月23日～25日に、議員10名が宮崎県の児湯郡都農町と北諸県郡三股町を視察しました。都農町では「農の都21」プロジェクトについて、三股町では「ネットなお仕事誘致・創出事業」と「子育てサポート事業」についての説明と質疑応答を行いました。

都農町は人口約1万人の過疎地域指定を受けた小さな自治体でありながら、20年前からワイン製造を始め、その後、食と農業の町としての活性化事業「キウイフルーツ産地づくり事業」に取り組んでいます。この事業は過疎からの脱却のための事業であり、ニュージーランドのキウイブランドを収穫時期が重ならない日本で国内生産拡大の余地があると町は判断、融資・リース方式による産地形成モデルを目指しています。

特筆すべきは、この「キウイフルーツ産地化事業」は、町内のパックセンターでの雇用創出・定住促進、ニュージーランドの栽培指導者と町の子どもたちとを交流させ教育の振興も行う、「関係人口」創出の取り組み方法であるということです。

一方、三股町は人口が増え続けている町で、2015年の年少人口割合が16.9%と高いにもかかわらず自ら過疎地区を町内に定め人口減少対策を先んじて行っている町です。「ネットなお仕事誘致・創出事業」は、総務省の地域おこし協力隊制度の隊員2名が行っている事業です。町の旧商工会館を改築し（財源は県の「田舎で起業」働く拠点づくり推進事業補助金200万円、国の地方創生加速化交付金約1,400万円を活用）、多様な働き方支援拠点施設とし、この「まち・ひと・しごと情報交流センター“あつまい”」で地域おこし協力隊員がコワーキングスペースの運営を行っています。都市圏に住む「テレワーカー」の移住や情報通信系の企業誘致を目指しているそうです。

また、鹿児島県鹿屋市柳谷地区（愛称：やねだん）は、国内の行政から今最も注目を浴びている人口300人の集落です。初代地方創生大臣の石破茂氏や小泉進次郎氏も尋ね学び感銘を受けたと聞いております。補助金に頼らず自主財源を作り、地域づくり・人づくりに励む豊重哲郎公民館長をリーダーとして、韓国からも注目されている地域集落です。利根町の地域活性化のための教訓となる宝庫といえる場所でした。



全国町村議会議長会 議員表彰

2月8日に開催された全国町村議会議長会第69回定期総会において、当町の坂本啓次議員が表彰されました。

15年在職議員

坂本 啓次 議員



利根町議会日誌（平成30年 1・2・3月）

活 動 内 容	
1 月	
4	御用始め
6	平成30年利根町消防出初式
"	利根町消防団本部並びに利根消防署合同新年会
7	平成29年度利根町成人式典
9	第68回千鳥会
16	利根町精工組合平成30年度通常総会
17	議会広報編集委員会
19	利根地固め唄保存会平成29年度第2回理事会
20	利根町PTA連絡協議会新年会
22	平成30年度県南町村負担金審議委員会
23	利根町議会議員行政視察研修会（～25日）
"	山梨県南北都留郡町村議会正副議長連絡協議会行政視察研修会受入
26	茨城県町村会平成30年第1回定例会（町村長・議長合同会議）
30	岩手県二戸市議会産業建設常任委員会行政視察研修会受入
2 月	
7	茨城県南水道企業団平成30年第1回企業団定例会
"	茨城県後期高齢者医療広域連合議会平成30年第1回全員協議会
8	利根町教育委員会・利根町教育研究会研究発表会
"	稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会
14	平成29年度第3回国民健康保険運営協議会
"	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
"	人権問題講演会
15	平成29年度町村自治功労者表彰式
"	総務産業建設常任委員会視察研修
18	第33回利根町駅伝大会

活 動 内 容	
2 月	
19	平成30年第1回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会
"	平成30年第1回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
"	平成30年度予算(案)内示会
21	平成29年度町村議会議員自治研究会
22	議会運営委員会
"	平成30年第1回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
"	学校法人タイケン学園創立20周年記念式典
23	利根町社会福祉協議会総務部会
"	平成30年第1回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会
26	平成29年度第3回利根町男女共同参画推進協議会
3 月	
1	平成30年第1回議会定例会（～14日）
3	利根町文化協会第四部門合同発表会
13	利根中学校卒業式
16	小学校卒業式
19	利根町社会福祉協議会平成29年度第4回理事会
22	平成29年度利根町観光協会第4回理事会
24	利根地固め唄保存会設立30周年記念公演並びに第5回利根町民謡・民舞の祭典
27	利根町社会福祉協議会平成29年度第3回評議員会
"	第4回利根町空家等対策協議会
28	第1回利根町振興計画審議会
29	第3回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会
"	ウェルネススポーツ大学・利根町との交流会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回の3月定例議会の傍聴者は延べ94名でした。

次回の定例議会は6月1日（金）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

発行責任者／利根町議会議長 船川 京子

編集担当／石山 肖子・新井 滄吉